

創立100周年事業 感謝状贈呈一覧

順不同

	企業・団体名及び氏名	功 績 概 要
1	おきなわ でんわ かぶしがいいしや 沖縄セルラー電話 株式会社	本県のスポーツ振興及び本会の諸事業推進に賛同いただき、 多額の寄付をいただいた功績。
2	かぶしがいいしやくさくさいじゅうき 株式会社 国際重機	
3	かぶしがいいしやなかもとこうぎょう 株式会社 仲本工業	
4	い りょう ほう じん とく しゅうかい 医療法人徳洲会 ちゅうぶ とく しゅうかい びょういん 中部徳洲会病院	
5	いっばんしや だんほうじん 一般社団法人 おきなわけんぐんよう ち とう じ ん し れん ぐ かい 沖縄県軍用地等地主連合会	
6	あさ ひ だい がく 朝 日 大 学	
7	なが はま ふみ こ 長 濱 文 子	
8	きん じょう し の ぶ 金 城 忍	
9	やま うち し づ お 山 内 志 津 男	

※ 多額:平成26年度～令和5年度までの間に合計100万円以上のもの

創立100周年事業 特別功労者一覧

	氏名	推薦団体	功績概要
1	おなが まさとし 翁長 政俊	ボウリング	平成27年から沖縄県ボウリング連盟の会長に就任し、永きにわたり連盟発展及び競技力向上に貢献した。
2	おおしろ きよし 大城 清司	テニス	沖縄県テニス協会設立当初(昭和43年1月)より理事兼普及・強化委員長として県内高校初の硬式テニス部を沖縄工業高校で立ち上げ、各高校の教職員へ指導普及を行うことで、那覇高校・浦添高校・首里高校・他複数の学校の生徒へも指導を行い県内各高校テニス部設立を支援、ジュニア選手の指導に尽力した。
3	おおわんあさたみ 大湾 朝民	ウエイト リフティング	永年にわたりウエイトリフティング競技指導者として活躍し、競技の普及発展に尽力。県協会役員も歴任し、国民スポーツ大会において通算18回の団体優勝に貢献するなど、ウエイトリフティング競技が沖縄県の代表的なスポーツとなるまで成長させた。
4	あらかき しばみつ 新垣 柴光	ソフトテニス	長年にわたり沖縄県のソフトテニスの普及・発展に多大なる貢献をなされました。その功績を称え沖縄県体育協会(現・沖縄県スポーツ協会)を始め、日本ソフトテニス連盟、西日本ソフトテニス連盟、九州ソフトテニス連盟において数々の功労賞を受賞。新垣氏なくしては県ソフトテニスの歴史は語れません。
5	いしはら まさひろ 石原 昌弘	剣道	長年に亘り、沖縄県剣道連盟の役員として組織運営に携わり、自らも後進の指導育成に尽力し、沖縄県の剣道普及発展に大きく貢献した。
6	ながはま ふみこ 長濱 文子	なぎなた	昭和62年開催の海邦国体に向けて、昭和56年に沖縄県なぎなた連盟を設立以来会長を務め、私財を投じて全日本なぎなた連盟の指導者を招聘し、組織強化及び選手強化に務めた。その結果、海邦国体では最初の総合優勝を果たした。国体後も会長の支援により全国大会等で、優勝及び上位入賞を果たしている。
7	まつだ とみお 松田 富雄	うるま市体協	平成19年よりうるま市体育協会の副会長、会長を歴任し、その間うるま市スポーツ少年団本部長も兼任。本市のスポーツ普及に尽力している。
8	たまき まなぶ 玉城 学	八重山郡スポ協	陸上競技の競技者として跳躍競技で長きにわたり、本県を代表する選手として活躍。また、指導者としては、長年携わりインターハイ、国体で数多くの優秀選手を排出。後進の育成、指導に力を注ぎ多くの後継指導者を輩出した。さらに、陸上競技公認審判員として多種大会運営に携わる。八重山郡体育協会(現スポーツ協会)では、副会長、会長を長年歴任し、加盟団体をとりまとめ、沖縄県民体育大会地元大会を成功裏に導き本郡スポーツ振興発展と本県スポーツの底上げに大きく寄与した。
9	かみや やすお 神谷 育雄	県スポ協	平成17年4月から平成21年3月まで専務理事、平成21年4月から平成28年6月まで副会長を務め、本県スポーツの普及・発展に貢献した功績。
10	さくもと つぐお 佐久本 嗣男	県スポ協	平成28年6月から令和2年6月まで副会長、平成29年4月から令和2年6月まで理事長を兼務し、本県スポーツの普及・発展に貢献した功績。
11	ずけらん おさゆき 瑞慶覧 長行	県スポ協	平成28年6月から令和4年6月まで副会長、令和2年6月から令和4年6月まで理事長を兼務し、本県スポーツの普及・発展に貢献した功績。